

日本図書館情報学会会報

No. 196

2024年2月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学 金井喜一郎研究室内
（事務局業務に関する問合せ先）
（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会
E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>
ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

令和6年能登半島地震の発生に寄せて

常任理事会

このたびの能登半島地震によって、直接被害にあわれた、あるいは、ご家族・知人に被災された方がいらっしゃる会員におかれましては、衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い回復がなされますことを、心からお祈り申し上げます。

2024年度春季研究集会のご案内

日本図書館情報学会会長
岸田和明

2024年度の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので、「3. 発表募集要領」および「4. 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をよくお読みのうえ、ふるってご応募ください。また、学生会員を対象に発表を行うための交通費等を一部補助する事業を行っています。該当される会員におかれましては申請ください。最後に、春季研究集会の円滑な運営のため、募集要領、発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

春季研究集会関係の情報は、学会のホームページでも随時、提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催要領

主 催： 日本図書館情報学会
日 程： 2024年6月15日（土）10:00～18:00（予定）
会 場： 京都橘大学 アカデミックリンクス

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34

<https://www.tachibana-u.ac.jp/about/campus/access.html>

アクセス： JR 琵琶湖線「山科駅」より京阪バス「京都橘大学」行で約 16 分(臨時直通バスを運行予定)
京都市営地下鉄東西線「柳辻駅」より徒歩約 15 分

参加費： 会員（正会員・学生会員）、非会員の学生は無料、学生以外の非会員は 3,000 円

2. 宿泊案内

会場校では宿舎の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

列車や宿泊場所の手配は、各人をお願いいたします。

3. 発表募集要領

(1) 応募条件

日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、第一発表者が正会員または学生会員であること）。

研究発表の申込は、申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は、研究発表を申し込むことはできません。発表を希望する方で、未入会の方は、発表申込締切前に入会申込締切日となる 3 月 20 日までに入会申込を行い、4 月 1 日時点で会員資格を得ておく必要があります。入会の承認通知が届いた後に、発表を申し込んでください。

(2) 発表時間：1 件 30 分（発表時間 20 分、質疑応答 10 分）

(3) 発表言語

日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、発表申込、発表論文作成、発表、発表概要提出まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

(4) 申込方法

学会ウェブサイトから発表申込申請サイトにアクセスの上、申し込んでください。なお、受理された発表要旨は ウェブサイトで公開される予定です。

(5) 申込締切：2024 年 4 月 15 日（月）24 時必着

申込直後に申込を受け付けた旨のメールを送付します(受理の連絡は別途、メールにて通知します)。

申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会 (kenkyu@jslis.jp) まで連絡してください。

(6) 発表論文の提出

発表申込が受理された場合には、A4 判で 4 枚の発表論文を作成し、2024 年 5 月 15 日（水）までに原稿を発表申込申請サイトから送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者に連絡します。

(7) 発表のための機材と資料等

PC によるディスプレイ (PowerPoint) 装置が使用できます。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会 (kenkyu@jslis.jp) まで問い合わせてください。当日の資料配布は、原則として認めていません。詳しくは、「4. 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をご確認ください。

(8) 優秀発表奨励賞

対象者は第一発表者として口頭発表を行った若手研究者（目安として研究歴 10 年以内）とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」

にチェック)してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される若手研究者(正会員、学生会員)に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。

(9) 交通費等一部補助

以下の要領で発表を行うための費用を補助します。希望される方は申請してください。

① 対象者：第一発表者として研究発表を行う学生会員

② 人数：希望者全員

③ 申請基準

自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として、研究集会開催校の最寄駅まで片道 300km 以上であることを基準とします。

④ 申請方法

発表申込申請フォームの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ、自宅または通学する学校の最寄駅のうち、研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告してください。

⑤ 補助額：一律 15,000 円

⑥ 支給時期と方法

研究集会で研究発表を確認後、1 週間以内に事務局から振り込みます。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求めます。

⑦ 補助に際してのルール

1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限ります。

2) 研究発表を取りやめた場合は支給しません。

3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために、他機関から補助を受けることを認めます。

4. 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表を申し込んでください。

(1) 個人会員(正会員・学生会員)は研究大会および春季研究集会において発表の権利をもつ。

(2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。

(3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において第一発表者(=発表論文の第一著者)として口頭発表 1 回、ポスター発表 1 回申し込むことができる。

(4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。

(5) 口頭発表の登壇者は、原則として発表論文の第一著者とする。

(6) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。

(7) 発表者は発表申込申請サイトから発表論文をアップロードする際、本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。

(8) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。

(9) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール)の変更は原則として認めない。

(10) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷、配布、および残部の回収は発表者自身で責任をもって行う。ただしポスター発表に

おいては、資料配布は自由とする。

5. 発表者への諸注意

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に「PC のつなぎかえの希望」について、必ず明記してください。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

6. 発表論文集の頒布

発表論文集は学会ウェブサイトで公開するほか、正会員および学生会員（非会員の学生を含む）には無償で頒布します。希望者は研究集会終了後 3 か月以内にレターパックライト（370 円）を会場校担当者（文学部 嶋田 学）宛てに郵送してください。到着次第、順次返送します。非会員の方は下記連絡先にご一報下さい。研究集会終了後に振込先の連絡を差し上げますので、2 週間以内に参加費 3,000 円と郵送料（レターパックライト 370 円）との合計額を指定の口座にお振り込みください。入金を確認され次第、発表論文集を送付します。

連絡先：研究委員会（kenkyu@jslis.jp）

件名は「春季研究集会発表論文集頒布希望」としてください。

2024 年度研究助成の公募

研究委員会

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。2024 年度は①『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿を予定し研究を行っている者、②図書館情報学分野での科研費の申請を予定し研究を行っている者、③博士論文執筆のための研究に取り組んでいる者を主たる対象として次の要領で募集を行います。研究歴が浅い研究者、外部資金を得にくい条件にある研究者を優先的に支援します。またこれから研究が本格化する萌芽的研究も本助成の対象とします。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

30 万円を 1 件の申請額の上限とし、一定の選考条件を満たした研究、2 件に交付予定。なお審査の結果、申請額が減額されることがある。

2. 応募条件

- (1) 本学会の個人会員が個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、

研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。共同研究の人数は3人程度とする。

- (2) 応募者が申込時点で正会員・学生会員である者に限る。未入会者は、応募申込締切前の入会申込締切日となる4月20日までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に応募すること。
- (3) 2025年3月31日までに研究を終了させること。
- (4) 2025年3月31日までに所定の書式によって「研究成果報告書」「会計報告書」および領収書のデジタルコピーを提出すること。
- (5) 以下のいずれかの要件を満たすこと。
 - a. 応募者は、研究終了後2年以内（2027年3月31日まで）に『日本図書館情報学会誌』に応募者が単著あるいは筆頭著者となる原著論文、研究ノート、展望論文のいずれかを投稿すること。
 - b. 応募者は、研究終了の翌年度（2025年度）内に代表者として科研費に応募し、その申請書を提出すること。
 - c. 応募者は、研究終了後3年以内（2028年3月31日まで）に博士論文を提出すること。
- (6) 本研究助成を受けたことがある者は、以前の助成の要件が満たされている場合のみ、本年度の申請が認められる。

3. 選考および選考後の報告義務

- ・「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に助成者名と研究題目を掲載する。
- ・助成者は研究終了後1ヶ月以内に、デジタル化した報告書と領収書を研究委員会に提出すること。
- ・助成者は2.応募条件に示された要件を満たした時点で、すみやかに研究委員会に報告すること。もし要件を満たせない事情が生じた場合、各応募条件の要件となる締切期日の1ヶ月前までに研究委員会に連絡すること。その際は、然るべき措置を講じる。

4. 応募方法

学会ウェブサイトから研究助成公募申請フォーム（2024年4月上旬に掲載予定）にアクセスの上、申し込む。申請に必要な応募項目は以下の10項目を予定している。

- (1) 提出日
- (2) 研究代表者の情報
 - 氏名
 - ふりがな
 - 所属
 - 会員種別
 - E-mail

- (3) 研究分担者の情報
 - 氏名
 - ふりがな
 - 所属
 - 役割分担

※共同研究の場合のみ、研究代表者以外の研究分担者全員を記入する。役割分担は、研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入すること。

- (4) 研究題目
- (5) 申請金額（円） ※上限 30 万円
内訳（円）
資料購入費・機器購入費・印刷複写費・旅費・消耗品費・謝金・その他の各金額を示すこと。また、研究計画と経費の整合性を明らかにすること。
- (6) 研究の目的（700 字程度）
この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入する。
- (7) 研究の意義（500 字程度）
この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について、具体的に記入する。
- (8) 研究の実施計画（800 字程度）
研究目的を達成するための計画・方法について、①これまでの準備状況、②本研究助成金との関連性、の二点を含めて具体的に記入する。研究目的との整合性を明らかにすること。
- (9) 研究成果の発表時期と方法（200 字程度）
2. 応募条件 (5) のいずれを予定しているか具体的に記入する。
- (10) 特記事項（200 字程度）
例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等、この助成が必要な特別の事情などがあれば、記入する。

5. 応募締切

2024 年 5 月 3 日 (金) 24 時必着

役員会等の記録

2023 年度第 4 回常任理事会（開催記録）

日時：2023 年 11 月 25 日（土）13:00～14:40

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，小山，浅石，大場（記録），須賀，金井

欠席者：呑海

1. 各委員会等に関する報告・協議事項
2. 2023 年度予算執行状況
3. 今後の活動

2023 年度第 5 回常任理事会（開催記録）

日時：2024 年 1 月 21 日（日）13:00～15:30

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，小山，浅石，大場（記録），須賀，金井，呑海

欠席者：なし

1. 各委員会等の 2023 年度事業の総括および 2024 年度事業計画
2. 2023 年度予算執行状況・2024 年度予算策定方針について

3. 2024 年度理事会・常任理事会，研究集会・大会の日程等

2023 年度第 2 回理事会（議事抄録）

日時：2023 年 9 月 23 日（土）13:00～14:30

場所：Zoom によるオンライン会議

出席者：岸田，三浦，金井，小山，浅石，須賀，大場，青柳，安形輝，安形麻，池内淳，池内有，池谷，
今井，大谷，小野，宇陀，河村，中村，庭井，松林

委任状提出：呑海，佐藤

1. 2023 年度定例（通信）総会の議案投票結果報告

2023 年度定例（通信）総会の成立ならびに議案成立が確認された。

2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

学会賞，論文賞，奨励賞の選考過程について報告があり，学会賞 1 件，論文賞 1 件，奨励賞該当なしと提案された。全て承認された。

3. 学会活動へ貢献があった者への感謝状の贈呈

該当なしと提案され，承認された。

4. 日本図書館情報学会規約の改訂

第 9 条（役員を選出・任期）の 3，4 の変更案が承認された。

5. 2023 年度事業の経過報告（担当と報告内容）

- ・研究委員会：研究大会，研究大会シンポジウムの準備状況
- ・編集委員会：学会誌の刊行状況や学会誌の刊行状況，投稿編集状況
- ・総務委員会：会報およびメールマガジンの配信の状況
- ・図書館情報学教育に資する事業 WG：WG の構成員
- ・出版事業検討 WG：WG の構成員および出版企画案
- ・学会誌エンバーゴ廃止の検討 WG：検討中であること
- ・会計担当者：会員・会費状況，会費補助申請
- ・会長：第 3 回オンラインチュートリアルセミナーの開催
- ・会長：研究大会・春季研究集会『発表論文集』PDF 版の遡及的ウェブ公開
- ・副会長：『図書館情報学事典』の発行および訂正

6. 2023 年度会員集会の次第

『日本図書館情報学会誌』のエンバーゴ廃止について

会長・岸田和明

『日本図書館情報学会誌』は，現在，「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて，一般に提供されています。ただし，記事全文の PDF ファイルは，印刷版の発行後，1 年を経過しなければ，ダウンロードできません。このいわゆる「エンバーゴ」を廃止し，印刷版の発行と同時に，全文の PDF ファイルを一般公開することが，2023 年 4 月に編集委員会より提案されました。それを受け，2023 年 5 月開催の理事会にて，安形輝氏（理事，亜細亜大学）を主査とする WG を立ち上げ，検討を重ねて

いただきました。この経緯については、2023年10月に愛知淑徳大学にて開催された会員集会にてご報告したとおりです。

最終的には、2024年1月20日に、検討WGから「エンバーゴを廃止することが望ましい」との提言をいただきました。常任理事会としましては、この提言どおり、「エンバーゴの廃止（ただし印刷版はこれまでどおり発行）」を2024年5月開催予定の理事会にて諮る所存です。もし何か特段のご意見があれば、2024年3月末日までにお寄せいただければ幸いです（<https://jslis.jp/contact/>）。なお、WGの検討内容の骨子は以下の通りです。これには元々の編集委員会からの指摘も一部含まれていることを付記します。

~~~~~

〔背景〕統合イノベーション戦略2023（2023年6月9日閣議決定）では「競争的研究費制度における2023年度新規公募分からの学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた国の方針を策定する」とされ、それを受けて総合科学技術・イノベーション会議では2023年10月30日に「公的資金による学術論文等のオープンアクセスの実現に向けた基本的な考え方」をまとめている。その中では即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針として科研費等を受けている研究者に対して「論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務づける」こととしている。多少なりの変更は加えられるにしても、今後、近いうちに策定される「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた国の方針」に盛り込まれると予想される。この方針が策定・実施され、即時オープンアクセス化を義務付けられるならば、科研費等を受けている研究者が、論文の投稿先として、「即時オープンアクセスの学術雑誌」を選ぶことになる予想される。

〔エンバーゴ廃止の影響〕メリットは、「図書館情報学分野の研究および研究者のビジビリティが向上する」「科研費の助成を受けた研究の、優先的な投稿先となり得る」「J-STAGEのパスワード管理等の事務処理が軽減される」ことである。デメリットとしては「学会誌の購読のみを目的とする会員が退会し、収入が減少する」ことが考えられる。

〔結論〕これまでどおりの運用を続けた場合、購読のみを目的とする会員を維持できたとしても、科研費を受けている研究者による投稿が減るなど、中長期的には、学会活動停滞の原因となる可能性がある。これは、購読目的の会員の減少よりも、大きな問題につながりかねない。よって、エンバーゴ廃止が望ましい。ただし、大学図書館などによる定期購読を鑑み、印刷版は残すべきである。

〔WGメンバ（敬称略）〕青柳英治（明治大学）、安形輝（主査、亜細亜大学）、佐藤翔（同志社大学）、松林麻実子（筑波大学）、浅石卓真（陪席、編集委員長）

## オンラインチュートリアルセミナーの講師およびテーマ募集（再募集）

日本図書館情報学会では、学会員の基礎知識や基礎スキルをアップデートしていただくために、Zoomを使って、オンラインチュートリアルセミナーを実施しています。これまで3回行い、それぞれのタイトルは、「Googleフォームでのアンケートに対するPythonによる集計入門」「学校図書館研究への新しい入り方」「Transformerの技術についての入門的解説：GPTやBERTをよりよく理解するために」でした。

つきましては、第4回目以降のチュートリアルの講師を、学会員の中から公募します（再募集）。メール本文に「講師名」「チュートリアルのタイトル」「チュートリアルの内容説明（簡潔に）」を書いていただき、2024年3月末日までに、[jslis-kaicho2021-group@keio.jp](mailto:jslis-kaicho2021-group@keio.jp)宛てにお送りください（ご質問があ

れば、このメールアドレスにお願いいたします)。

「採用／不採用」に関しては、常任理事会にて検討させていただき、採用の場合には、後日、開催日程をご相談させていただきます。

(常任理事会)

## 研究会・春季研究集会における発表原稿の PDF ファイル公開

常任理事会では、今年度、研究会および春季研究集会における発表原稿の PDF ファイルを 5 年分作成し、一般公開しました。来年度もこの事業を進め、遡及的に PDF ファイルを作成・公開していく予定です。

○春季研究集会 (2015～2019 年度) :

京都ノートルダム女子大学 (2015 年 5 月), 白百合女子大学 (2016 年 5 月), 専修大学 (2017 年 6 月), 早稲田大学 (2018 年 5 月), 帝京大学 (2019 年 6 月)

ウェブページ : <https://jslis.jp/events/spring-research-meeting/archives/>

○研究会 (第 63～67 回) :

第 63 回 (学習院女子大学, 2015 年 10 月), 第 64 回 (天理大学, 2016 年 11 月), 第 65 回 (椋山女学園大学, 2017 年 11 月), 第 66 回 (琉球大学, 2018 年 11 月), 第 67 回 (龍谷大学, 2019 年 10 月)

ウェブページ : URL : <https://jslis.jp/events/annual-conference/archives/>

(常任理事会)

## 委員会・事務局より

### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」, 「執筆要綱」, 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。

(編集委員会)

- ・ 投稿先 : 日本図書館情報学会編集委員会 ([journal@jslis.jp](mailto:journal@jslis.jp))
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2021 年 4 月 1 日改訂  
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/tokokitei20210401.pdf>
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016 年 10 月 8 日改訂  
[http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w\\_out\\_161008.pdf](http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2021 年 4 月 1 日改訂  
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/rule20210401.pdf>
- ・ 日本図書館情報学会査読網領 2021 年 4 月 1 日改訂  
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/03/sadoku20210401.pdf>

### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電

子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

なお、2024 年 4 月より発行頻度を月二回に変更します。配信時期は月中旬と月末となります。ただし記事数によっては月一回発行のみとなります。月一回の場合、配信が中旬か月末かは掲載依頼の時期によって変わります。

(総務委員会)

#### J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後 1 年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文を J-STAGE 上で閲覧するには、J-STAGE のウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインあたっては、購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号 (4 桁の数字) で、パスワードは入会当初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には、事務局 (office@jslis.jp) までお問い合わせください。

(事務局)

#### 2023 年度の会費納入について

2023 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。

#### 未納会費の納入について

2022 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2021 年度までの会費を未納の場合は、2022 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を 3 年滞納した会員 (学生会員は 2 年) については、その年度末 (3 月 31 日) に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を 1 年滞納 (当該年度末を超えて滞納) した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で 2023 年 4 月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

#### **【振り込み先】**

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い (もしくは決済) が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

## 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意下さい。

(事務局)

## 2024年4月以降の印刷版会報受領希望の申し込みについて

現在会報はpdf版での発行となっています。ただし、希望者に対しては印刷版を郵送します。郵送を希望される方は総務委員会のアドレス（somu@jslis.jp）宛てに、「印刷版会報郵送希望」とのタイトルメールにて「氏名」「郵送先郵便番号および住所」の2点をご連絡ください。郵送についてはpdf版の発行後の送付となります。本年度申し込み済の会員でも、2024年度も継続して郵送希望をされる場合には改めて申し出ください。

## 学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- 蟹瀬智弘 著『NCR2018の要点解説：資源の記述のための目録規則』樹村房，2023
- Keiichi Kawamura. *Board System of Ordering*. Jusonbo, 2023
- 西川開 著『知識コモンズとは何か：パブリックドメインからコミュニティ・ガバナンスへ』勁草書房，2023
- 未来の図書館研究所 編『図書館員の未来カリキュラム』青弓社，2023

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)